令和 5 年 8 月 24 日

関係各位

山梨大学教育学部附属小学校
校長　宮崎　淳一

山梨大学教育学部附属小学校における入学定員の変更について

令和 3 年 1 月の中央教育審議会答申（「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～すべての子どもたちの可能性を引き出す，個別最適な学びと共同的な学びの実現～）を受け，国においては，令和 3 年度から公立小学校の学級編成の標準が改正され，現行の 40 人から 35 人に段階的に引き下げる措置が施行されました。一方，山梨県においては，国以上の独自基準を設け，令和 3 年度から小学校 1 年生に，令和 4 年度からは 2 年生に 25 人学級が導入されています。さらに，3・4 年生についても，令和 5・6 年度からそれぞれ 25 人学級が導入される予定となっています。

山梨大学教育学部附属小学校の現在の入学定員は 105 人（35 人×3 学級，6 学年合計 630 人），附属幼稚園の現在の入園定員は 35 人，附属中学校の入学定員は 144 人（36 人×4 学級，3 学年合計 432 人）となっていますが，国・地域の動向，附属学校を取り巻く環境の変化や新たな社会ニーズへの対応，子ども一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導体制の整備等を行うため，同定員を見直す（減員する）こととしました。具体的には，令和 6 年度から，第 1 学年児童の入学定員を 90 人（30 人×3 学級）とします。ただし、本学附属幼稚園からの入学予定者を含みます。